

Visiting Nursing System In Japan

訪問看護の現状とこれから 2025年版

公益財団法人日本訪問看護財団

Vol.001

目次

I

訪問看護の現状

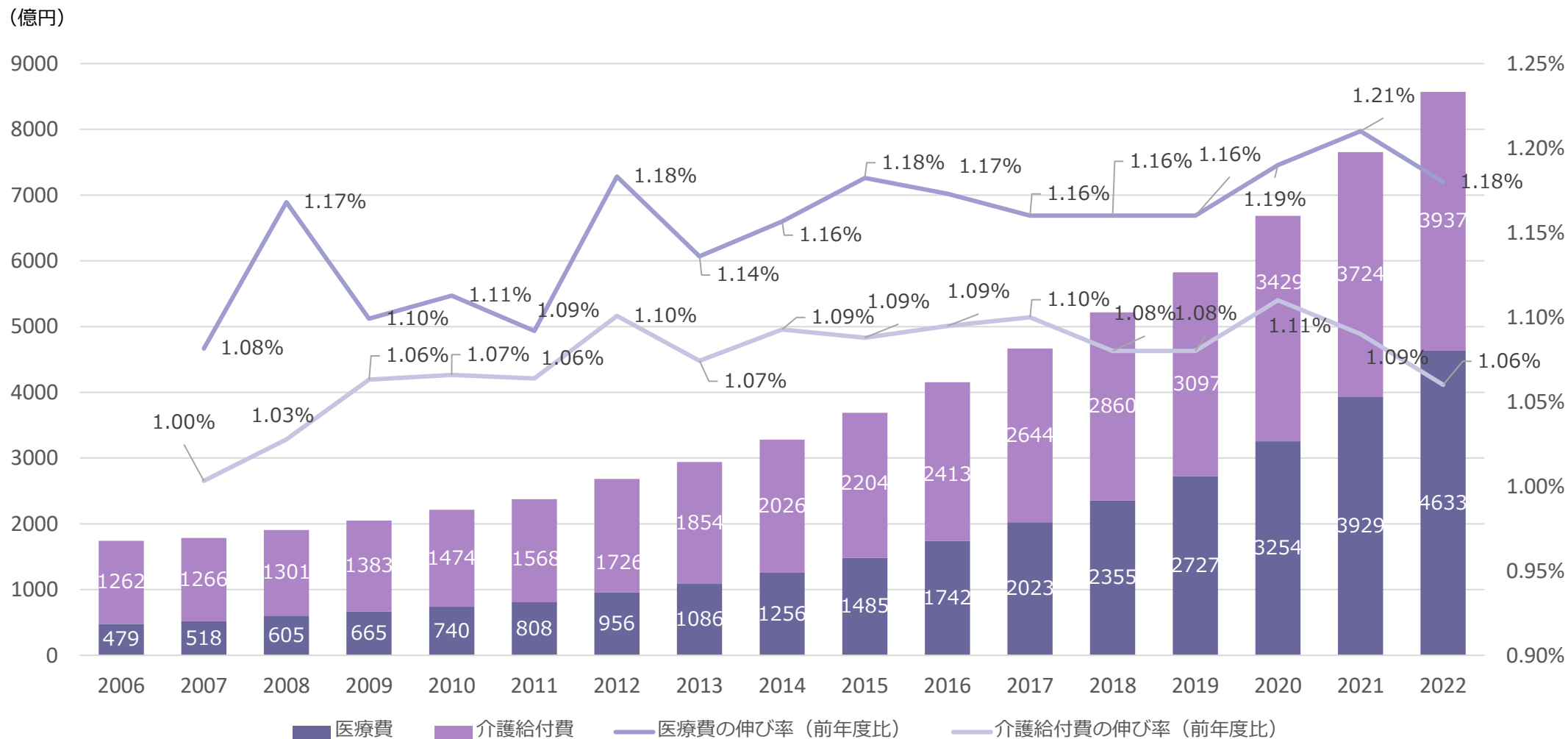
01. 訪問看護ステーションに係る医療費・介護給付費の推移
02. 介護保険制度における訪問看護事業所数の推移
03. 訪問看護ステーションの開設主体別割合
04. 訪問看護ステーションの利用人員階級別事業所数の構成
05. 訪問看護ステーションの職種別職員割合（常勤換算と実数の比較）
06. 訪問看護ステーションの利用者傷病別内訳
07. 訪問看護ステーション利用者の看護内容
08. 死亡の場所別にみた死亡数・構成割合

II

訪問看護のこれから

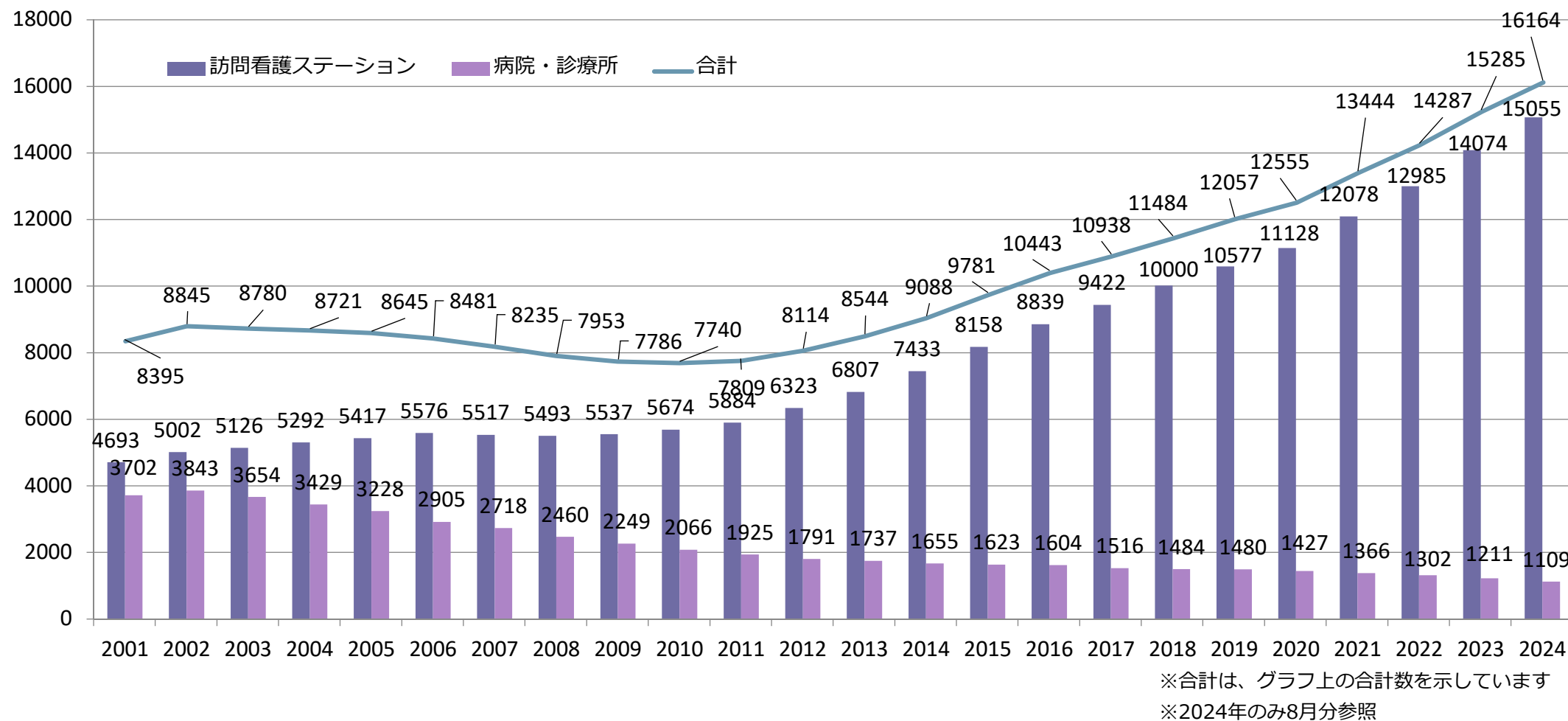
01. 訪問看護アクションプラン2025概要
 - 参考1 日本の人口推移
 - 参考2 2025年に向けたシナリオ別看護職員の必要数 暫定値
 - 参考3 訪問看護師の生涯研修体系の提案

医療費…健康保険、後期高齢者医療制度、公費負担医療、
 自費介護給付費…訪問看護費、介護予防訪問看護費



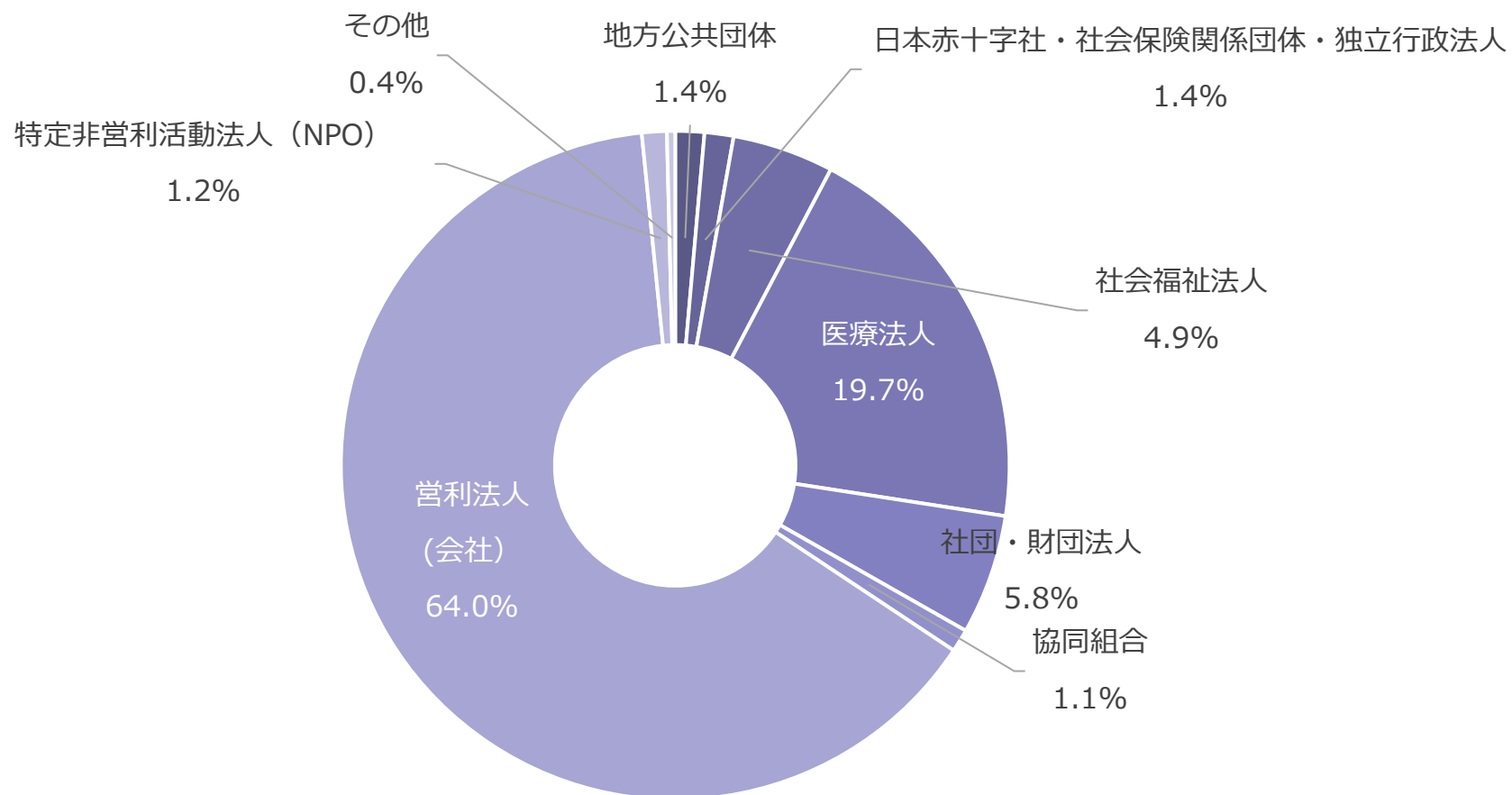
【出典】国民医療費の概況、介護給付費実態調査

2024年8月現在

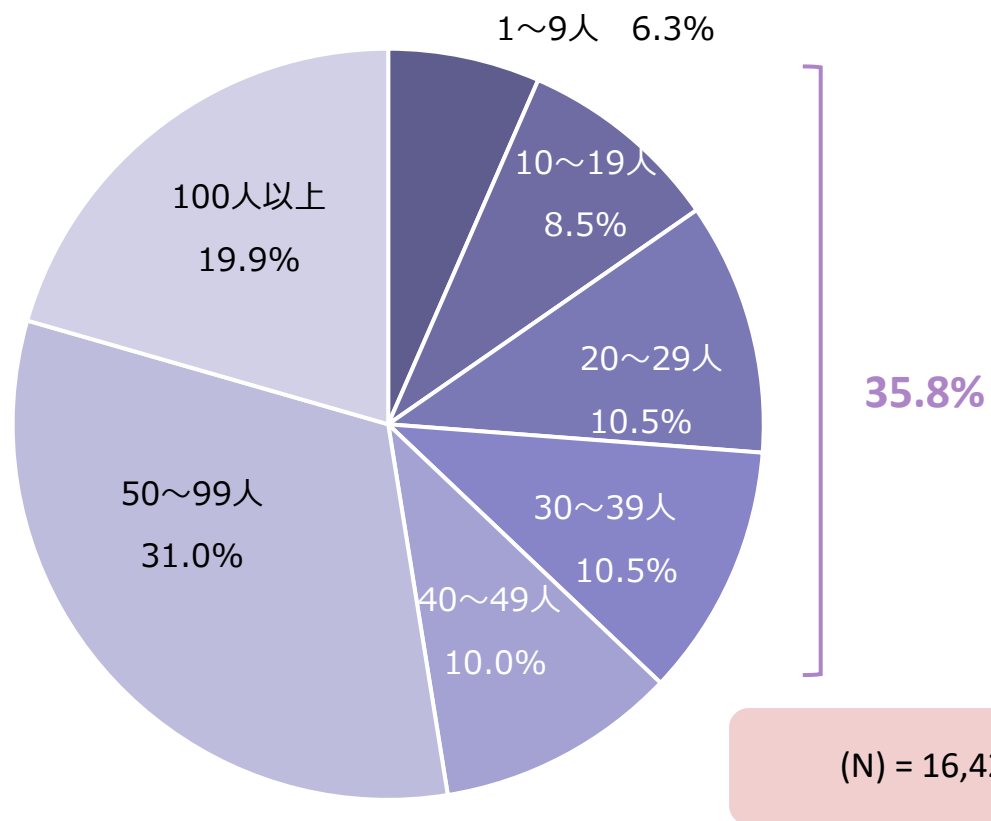


資料：厚生労働省「介護給付費実態調査統計（各年9月に請求した訪問看護事業所数）」より作成

訪問看護ステーションの開設主体別割合

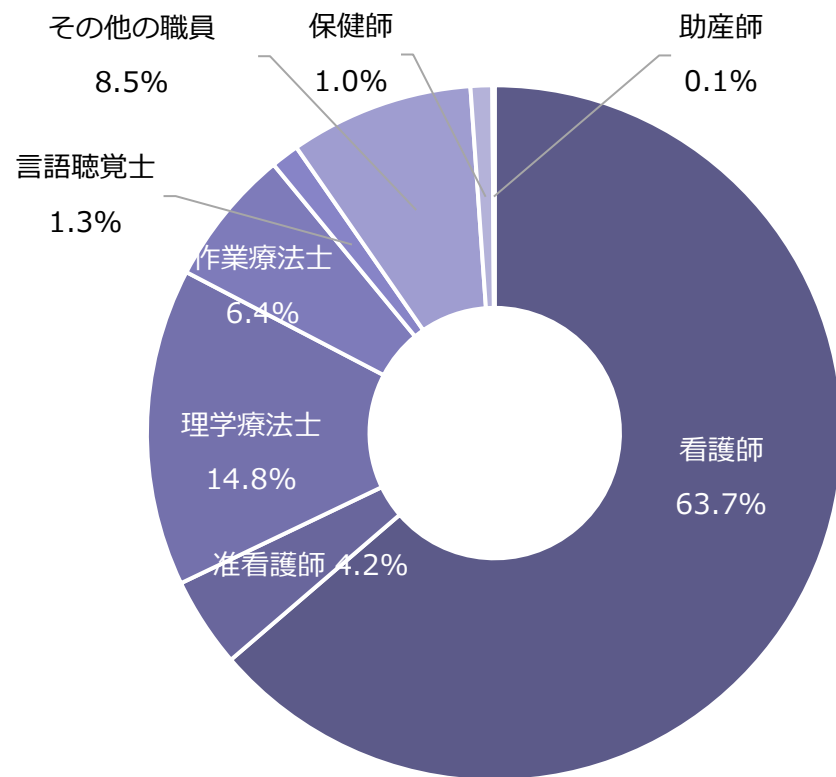


資料：厚生労働省「令和5年介護サービス施設・事業所調査」より作成



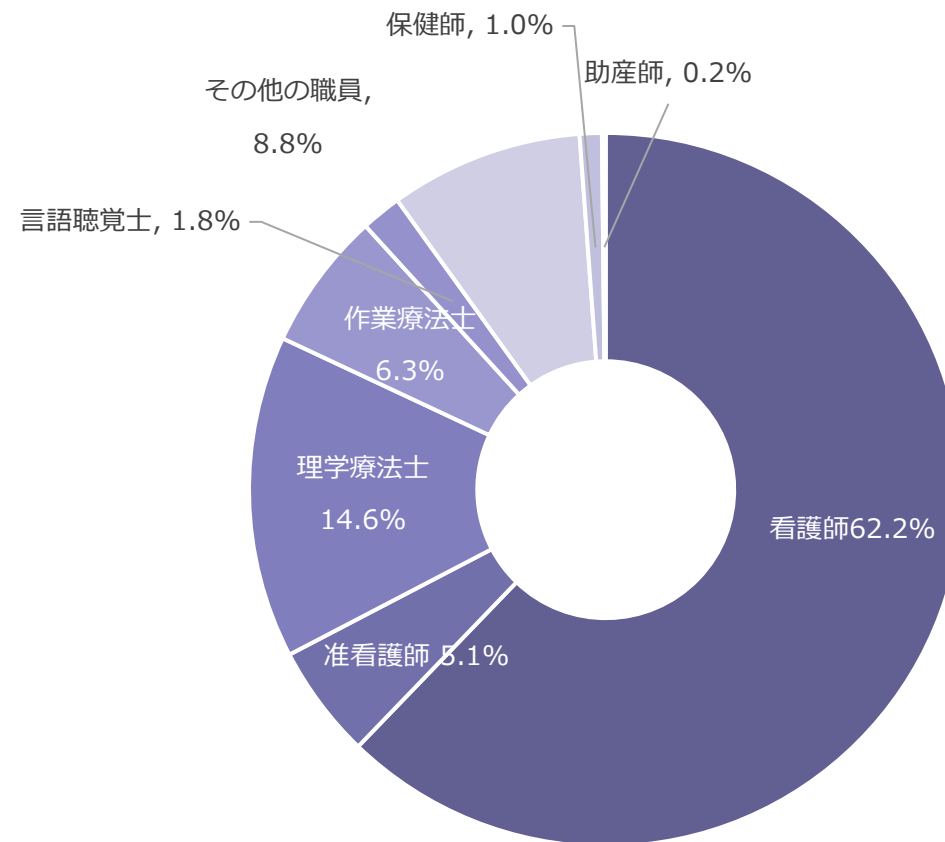
資料：厚生労働省「令和5年介護サービス施設・事業所調査」より作成

常勤換算（N） = 103,314人

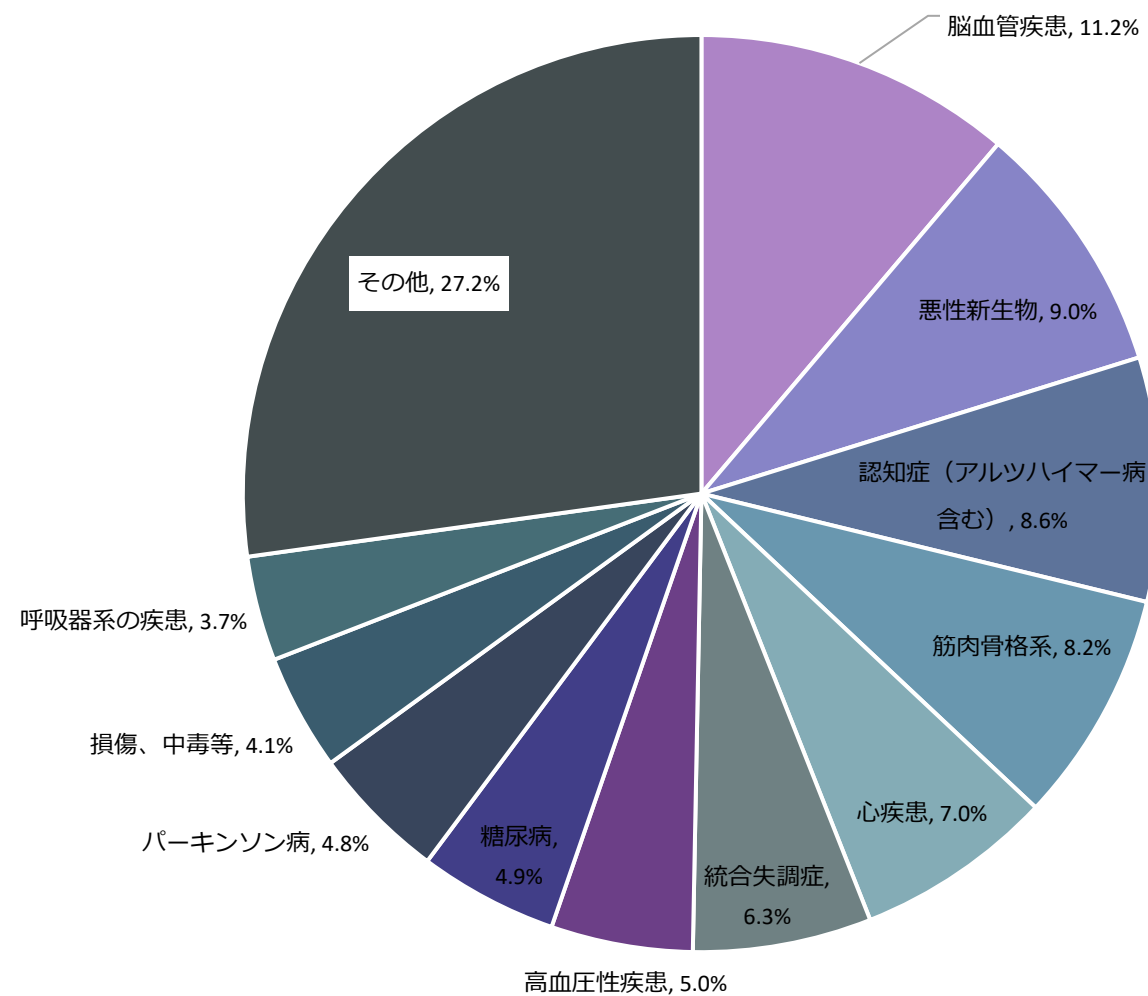


資料：厚生労働省「令和5年介護サービス施設・事業所調査」より作成

実数（N） = 180,316人

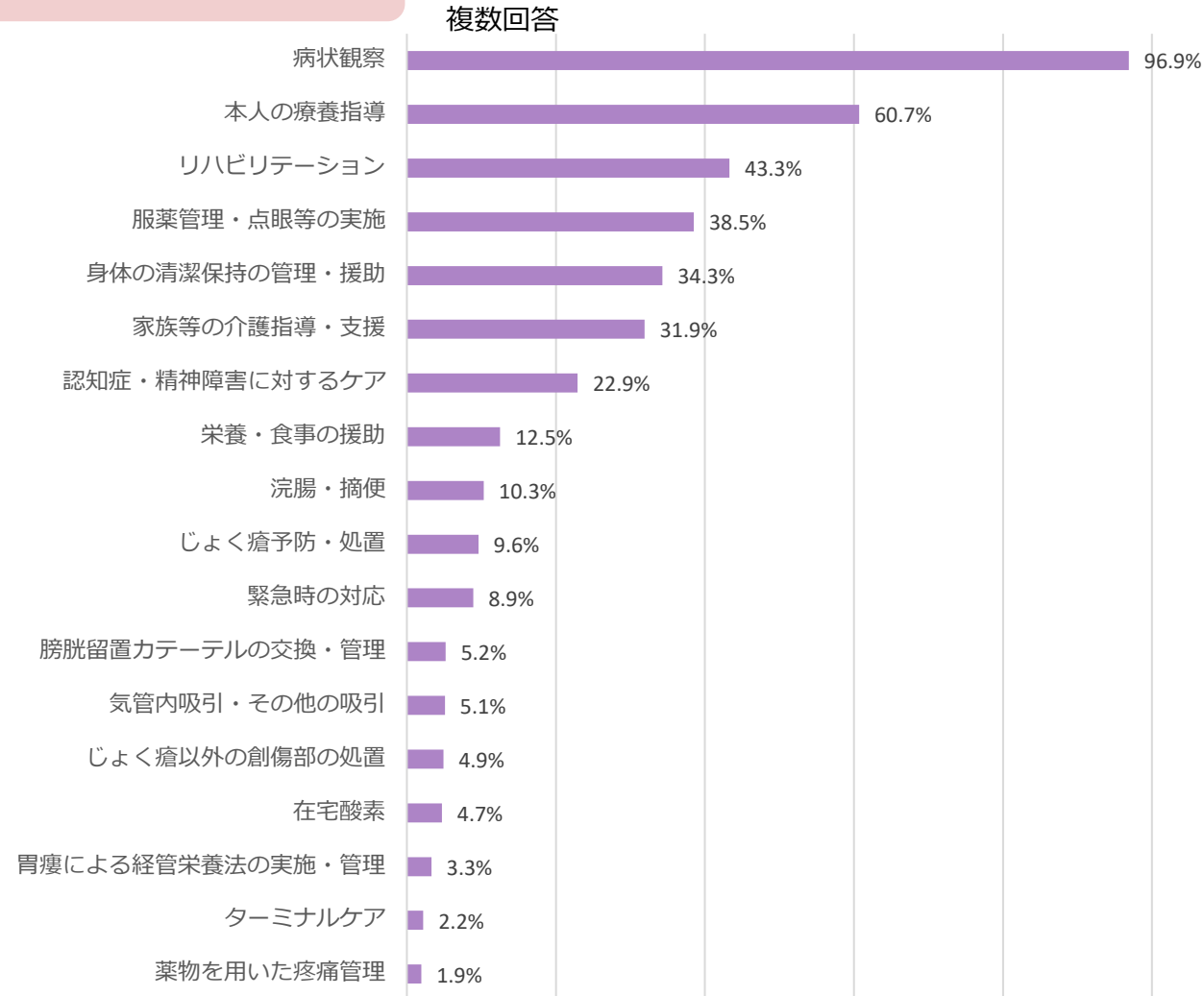


資料：厚生労働省「令和5年介護サービス施設・事業所調査」より作成

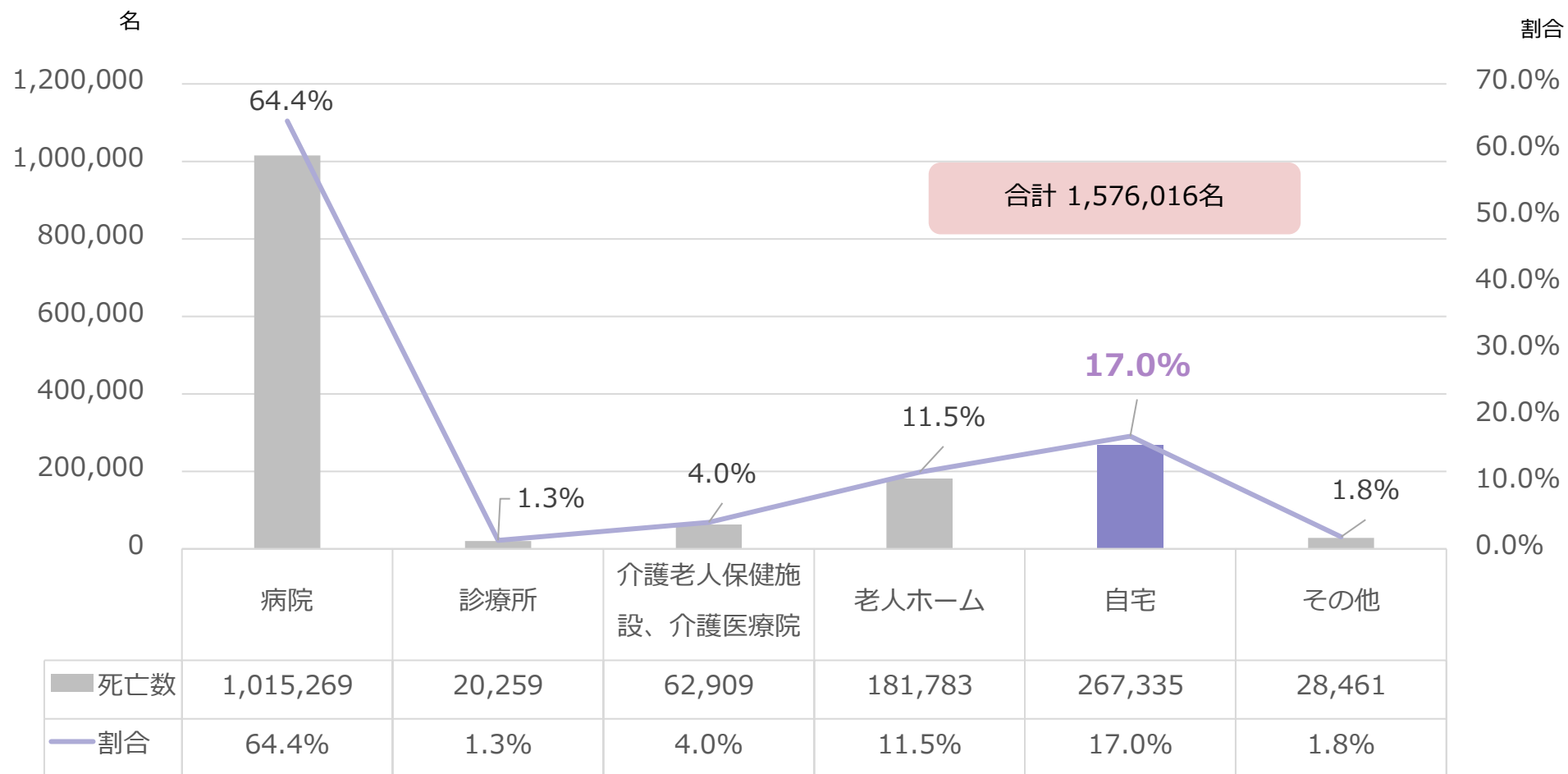


資料：厚生労働省「令和4年介護サービス施設・事業所調査」より作成

※訪問看護ステーションの利用者数：1,115,634人
(医療処置に係る看護は全体の61.5%)



資料：厚生労働省「令和4年介護サービス施設・事業所調査」より作成



※割合は、グラフ上の合計数から算出しています

厚生労働省「人口動態統計年表(2023年)」5-5 死亡の場所別にみた死亡数・構成割合より作成

I 訪問看護の量的拡大

1. 訪問看護事業所の全国的な整備
 - 地域偏在の解消
 - 24時間365日体制の整備
 - 規模の拡大
2. 訪問看護師の安定的な確保
 - 目標15万人
 - 新卒看護師の確保
 - 処遇改善とワークライフバランス（WLB）
3. 医療機関と訪問看護ステーションの看護師の相互育成
 - 人材育成システムの構築
 - 人事交流の機会

III 訪問看護の質の向上

1. 健康の維持・回復、生活や穏やかな人生の最終段階を支える視点を持つ専門家の育成
 - 対応充実
 - 在宅ターミナルケア、緩和ケア、認知症、精神疾患、重度心身障害児退院支援等
2. 看護の専門性を発揮して多職種と協働
 - 多職種と共に学び、考える場づくり
3. 訪問看護ステーション管理者のマネジメント力の向上
 - 管理者研修の充実
4. 看護基礎教育への対応強化
 - 教育機関との協力体制
 - 在宅看護論の実習指導力の向上

II 訪問看護の機能拡大

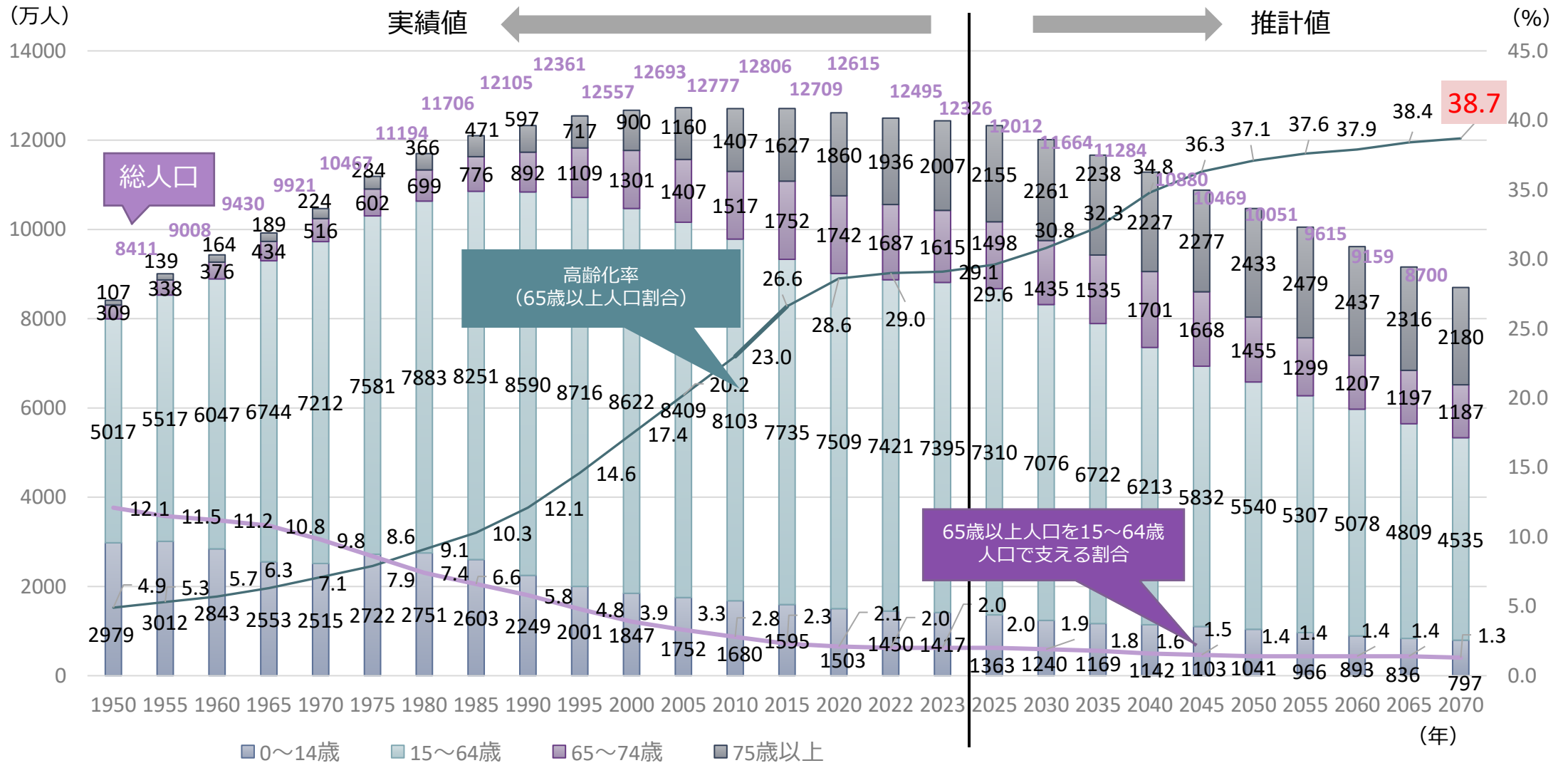
1. 訪問看護の提供の場の拡大
 - 介護施設やグループホーム及び学校等への訪問看護
2. 訪問看護事業所の機能の拡大
 - 機能強化型訪問看護ステーションを二次医療圏に1か所以上設置
 - 療養通所介護の拡充
 - 住民への予防活動等を提供
3. 看護小規模多機能型居宅介護の拡充
4. 訪問看護業務の効率化
 - ICT活用による多職種との情報共有
 - 業務効率化

IV 地域包括ケアへの対応

1. 国民への訪問看護の周知
 - 訪問看護の機能・役割の情報発信
2. 地域包括ケアシステムの構築
 - 地域ネットワークづくり
 - 市町村の事業や会議への参加
3. 地域での生活を包括的に支援する訪問看護ステーションの機能強化
4. 訪問看護の立場からの政策提言
 - 計画策定プロセスへの参加
 - 地域特性にあった政策提言

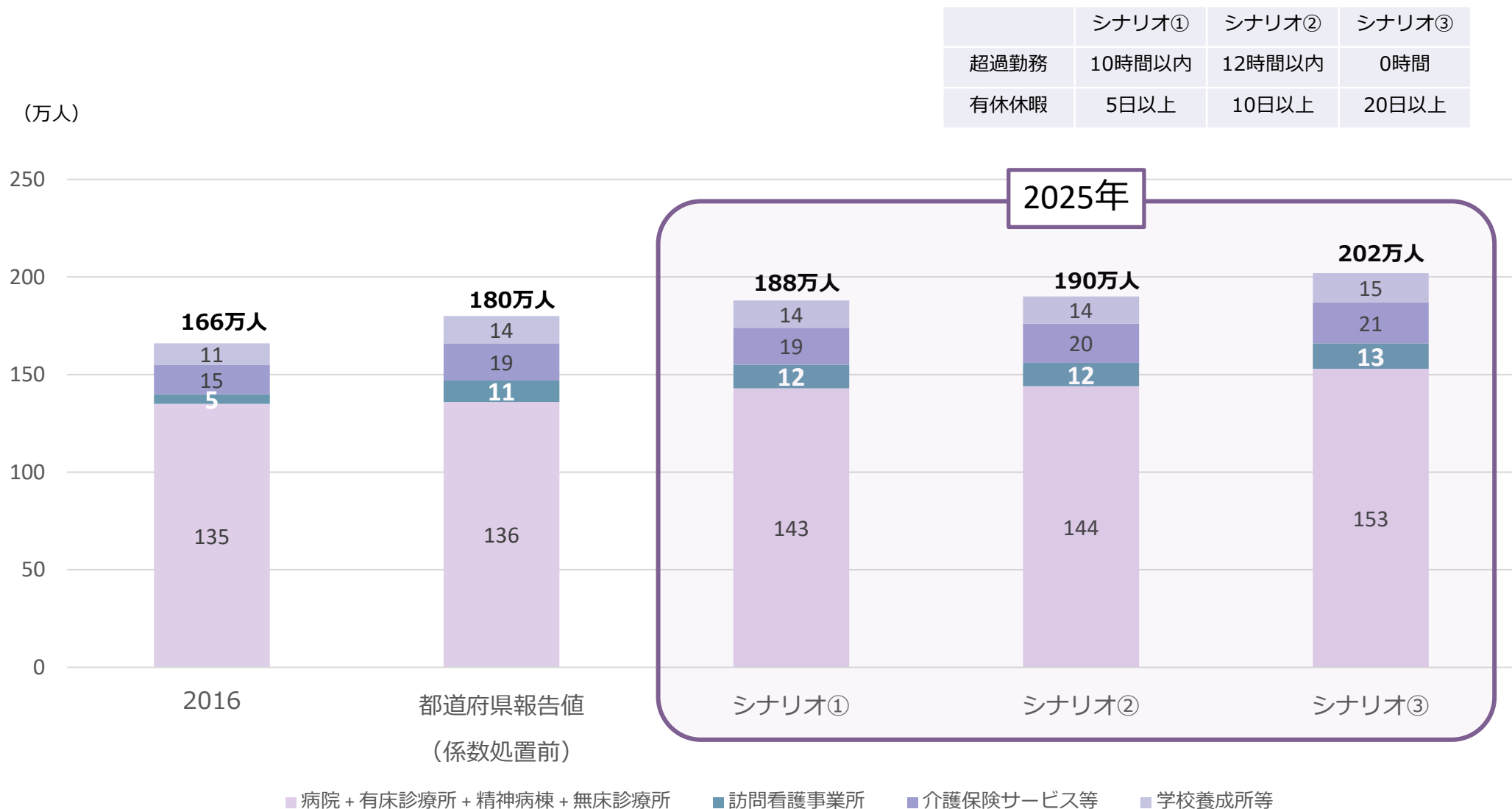
Ⅱ-01.
参考 1

日本の高齢化の推移と将来推計



出典：内閣府「令和5年版高齢社会白書」第1章高齢化の状況（図1-1-2）を元に当財団が作成

2025年に向けたシナリオ別看護職員の必要数 暫定値



資料：厚生労働省「医療従事者の需給に関する検討会・看護職員需給分科会 中間まとめ（概要版）」を元に当財団が作成

訪問看護師の生涯研修体系の提案

研修内容	<全ラダーに共通する研修の場の設定> ・OJT ・O f f -JT			【高度専門分野（指導・研究）】 ・認定看護師教育課程 ・専門看護師教育課程（大学院）	
				【訪問看護ステーションの経営・管理】※ ・訪問看護ステーション管理者対象研修 ・事業の起業研修 ※この部分はキャリアラダーに相当するため点線・別色で区別している	
				【専門分野】 ・地域包括ケア（地域を見る視点）に関する研修 ・訪問看護展開に必要な知識技術研修 ・医療処置別の知識技術研 ・対象別の知識技術研修 等 【特定行為】 ・呼吸器関連 ・ろう孔管理関連 ・創傷管理関連 ・血糖コントロールに係る薬剤投与関連	
	【訪問看護基礎】 ・訪問看護入門プログラム・訪問看護師養成講習会 （訪問看護eラーニング）				
研修目標	訪問看護に従事する・基本がわかる 訪問看護の専門性を高める 訪問看護の指導・管理業務ができる 訪問看護の指導・研究ができる				
職位目安	未就業、スタッフ	スタッフ	スタッフ、管理者	スタッフ、管理者	スタッフ、管理者
訪問看護就業期間目安	訪問看護未就業～6か月	6か月～1年	1～3年	3年以上	3年以上（管理者）
ラダー（レベル）	I（新人）	Ⅱ（初級）	Ⅲ（中級）	Ⅳ（上級）	Ⅴ（上級）